

辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会 <<2016年7月23日・No49>>

連絡先…森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



高江で安倍政治の本性むき出しに

140人の高江に、福岡・練馬・柏など全国から500人の機動隊

今年1月、辺野古土砂北九州連絡協議会で訪れた、ヘリパット建設反対の高江のテント。名護市から車で北に1時間の所にある東村高江(ひがしそんたかえ)。ジャングルのような雰囲気のある森に囲まれた、人々が点在するように住んでいる高江。その高江に、全国から500人の機動隊が来るという。いったい何が起ころうとしているのか…。「ともかく、高江に」と、沖縄に行くことに。7月22日早朝、私が沖縄に行くために早朝に起きてから名護市に付くまでの間、高江では、前代未聞の安倍政権による暴挙が行われていました。事務局・八記久美子



このテントも、撤去されてしまいました。

【ミニ解説】1996年日米両政府は、沖縄の北部練習場7543haのうち、半分以上の3987haの返還で合意。返還される部分にあるヘリパット7つを、残る部分に移設(後に6つに変更)する条件がついたため、住民らが反発し、いまだに完成は2ヶ所。この2年間、工事は行われていなかった。



自然いっぱい
やんばるの森



この写真は、琉球新報7月22日号から転載。また、このニュースの文章は、琉球新報・沖縄タイムスの記事を参考にさせて頂いた部分があります。

●市民にけが人、救急搬送

22日は、50代男性1人がろっ骨を折るだけを負い、男性1人が街宣車から転落、女性1人が首への強い圧迫感を訴えるなど、3人が救急搬送されました。

●これが政府のすることか

7月21日、首相官邸で政府・沖縄県協議会が開かれましたが、その場では、菅官房長官や中谷防衛相から翁長知事に、22日のヘリパット着工の話はまったくなかったと言います。

また、21日夜、謝花知事公室長が、沖縄県庁に中嶋沖縄防衛局長を呼び、「明日、工事をするのか」と問い詰めましたが、中嶋局長から答えはなかったと言います。結局、県への報告は、ヘリパット工事開始の、約1時間後でした。

また翌22日、政府は県道70号線を封鎖して人の出入りを遮断。機動隊を大量投入し、道路管理者である県職員も現場への立ち入りを拒否されました。報道関係者も一律に締め出され、自由な取材活動に支障が出たそうです。

●権力の暴力は、私たちの力を超えていた・・・山城博治氏

レッカー車や作業車が通れないよう、市民らは7月22日(金)の機動隊到着前の午前3時、月明かりを頼りに、自分たちの車160台余りを中央線によせ、約200人の市民が、車両の間に入ったり、道端に寝転んだりしました。

しかし、機動隊は、午後6時に排除開始。市民らは、6時間以上抵抗を続けましたが、すべて排除されてしまいました。

8月7日に北九州で講演をお願いしている、沖縄平和運動センターの山城博治議長は、「あんなに暴力を振るわれるのか。心が折れそうになった。権力の暴力は、私たちの力を超えていた」と語り、自らももみ合いで、シャツの右袖が破れていましたが、「負けない方法は、勝つまであきらめないことだ。またあの現場に戻りたい」と言い、市民から「そうだ」と拍手が起こったそうです。

この柵は22日に機動隊が作ったもの。機動隊の車に、向かって抗議しているのは、地元の方。右側はお世話になった共同センターの福山さん。



●沖縄の闘いは、日本の未来がかかった闘い

表面の見出し「安倍政治の本性が高江でむき出しに」は、社民党沖縄県連照屋大河書記長の言葉です。高江・辺野古・国が地方自治体を訴えた違法確認訴訟など、沖縄での異常事態は、将来の日本の姿を感じさせます。

将来、日本が人権・国民主権・平和が守られる国になるのか、今沖縄で繰り広げられている異常事態がさらに全国に広がるのか…。沖縄の闘いは、日本の未来がかかった戦いではないでしょうか。



23日の9時頃の高江の写真。機動隊は150人くらい



●22日夕方と翌朝高江に

現地は高江のバスの終点から、さらに6キロ先にあります。現地まではいけないけれど、少しでも何か感じる事ができたらと、沖縄について日、私はバスで1時間先の高江の終点に向かいました。

高江に近づくにつれ、高江から帰ってくる米軍のトラック、パトカー、機動隊の装甲車(窓に金網を張った青いバス)と、たくさんすれ違いました。装甲車は、14台でした。バスの運転士さんは、福岡と北九州ナンバーがあったと教えてくれました。

翌日は、名護共同センターの福山さんの車で、朝5時過ぎに名護を出発しました。

現地に着くと、片側には機動隊の車などがずらりと並び、片側通行状態になっていました。メインの場所には、地元の方をはじめ、那覇から県会議員の皆さんや、全国各地の人もどんどん集まってきていました。

後でわかりましたが、東京の辺野古土砂全国連絡協議会のメンバーも高江に来ていました。今後も山口や愛媛のメンバーが来る予定です。

●福岡ナンバー見た

私が見た他県の装甲車は、柏・練馬・福岡のナンバーでした。異常以外の何物でもないと思いました。

山城博治講演会…8月7日(日)14時・商工貿易会館・参加費800円